

女川ひとり歩き

(仙台から)

2013年2月11日、建国記念日

所用時間：石巻から4～5時間？



シーパルちゃん（女川町キャラクター）
「海の友だち」という意味の名前のうみねこ



リアスの戦士イーガー
海を・島を・女川を守る 正義の戦士

by NK

「女川ひとり歩き」（仙台から） 所用時間：石巻から 4～5 時間？

by NK

2013年2月11日、建国記念日、に、73歳の男性が、女川町に通う支援者に書いてもらった文字だけをもとに、女川町を訪問したときの記録です。その後、電車が渡波駅から浦宿駅まで延長され（2013年3月）、工事が始まって女川中心部は迂回が必要となり（2013年4月）、既に変更してしまったところも多いですが、皆様の訪問時のご参考にしてください。

聞くと見るとでは、大違い！被災地の状況は、テレビや新聞の報道からは見えないものばかりです。大丈夫、73歳でも行けたんです。交通費さえあれば、あなたも行けます。明日からのニュースは、全く違うものとなるでしょう。

若干、記述が正確ではない部分もあるかもしれませんが、ご容赦ください。

2013年5月吉日

準備

- ・ 大きめのデイバックと運動靴で行きましょう。そして買うかどうか迷ったら買いましょう。誰かのお土産にはなるでしょう。なんならいざと言うときに広げられる畳めるバックも入れて行きましょう。
- ・ 現金を持って行きましょう。通信が整わないところに建てられている復興商店街などでは、カードは使えないところもあります。
- ・ 仙台で、いらぬ荷物はコインロッカーに預けましょう。とにかく、いっぱい歩かないといけませんから。

注意事項：

- ・ 「まだ、・・・なんですか？」とか、“ご苦労お察しいたします”のつもりで軽く発した言葉も、現場で苦労している方々によっては「ぐさっ！」と突き刺さっている方もいるかもしれないことを注意して、言葉はきちんと選んで使いましょう。
- ・ 「やっぱ、こういう時はあれですよ、テレビで見ましたよ」みたいな、安易な相槌や、報道の鵜呑みはやめましょう。概要やテレビよりも、現場で起きていることが事実ですので。
- ・ 「どうですか？」とかいう、とても抽象的な質問はやめましょう。「震災の後大変でしたか？」とか、前の話で、かつ、なが—い話を一言で聞くのもやめましょう。「仮設住宅はやはり寒いんですか？」「報道ではこう聞きましたが実際にそうなんですか？」というような、答えやすい具体的な質問をこころがけましょう。
- ・ 家族や仕事の話などは、あまりこちらから振るものではなく、「大変ですね」というような言葉の後に、先方が勝手に話出したときのみ聞いた方がいいと思います。

では、出発しましょう～！

仙台からJR仙石線で石巻へ

途中は代行バスに乗り換えですが、敢えて代行バスに乗りましょう。

内陸からも行けますが、沿岸部の風景を見ながら行きましょう。



1 仙石線は仙台駅の一番奥の地下から出ます。
09:00 出発。途中はまだ代行バスです。



2 「松島海岸駅」で代行バスにのりかえです。
2 台のバスが用意され、案内してくれます。



3 途中、バスの車窓からは2年前の津波のつめ跡
が随所に見られます。

4 矢本駅でバスを降り、再び電車に乗り換えます。
祭日でしたがバスも電車もガラガラ。



石巻駅からタクシーで女川へ

【乗車】

中瀬（なかぜ）→湊町→鹿妻→渡波→万石浦ルートで、周辺の景色を見ながら女川に向かいましょう。



5 仙台から合計2時間程で10:48石巻駅に着きました。駅前のタクシーに計画表を渡して頼みました。



6 被災したが、正月は一部だけオープンした「石森萬画館」に運チャンが勝手に（善意で）立ち寄りました。



7 毎時0分から5分間、定時にカラクリのイベントあります。きれいで凝ってはいるが、野外では小さい！寒い！

8 運転手の解説のもと、女川への道路は50cm程かさ上げして早めに復旧。解体？修理？を待つ建物が、随所に見られました。



【立ち寄り】

女川第1小学校・・・体育館がまだ修繕されていないと思います。グラウンドは仮設住宅になっています。



9 女川町に入りました。この高架ガードの先が被災地帯。ここで車は左へ入りました。

10 女川小学校の校庭には ぎっしりと仮設住宅が建っていました。



【乗車】

女川バイパスを通過して女川中心部（旧）に向かいましょう。途中左手にあるのが 「希望の鐘商店街」です。バイパスを下りかけて女川中心部に向かうところで、景色が変わります。そのまま、旧女川駅付近を通過して、総合体育館へ行きます。

【立ち寄り】

総合体育館・・・旧野球場に3階建て仮設住宅が建っています。また、旧陸上競技場に復興住宅を建築中です。



12 左のコンクリート壁の上が旧病院。右手に土盛りが見える。この程度に即ち、5mほどかさ上げ予定とか。

11 ガードをくぐって女川町の昔の繁華街の方(と思う)に入ると、原っぱと原っぱである。





13 運動公園に向かう途中では道端に、ビルが横倒しになっていました。

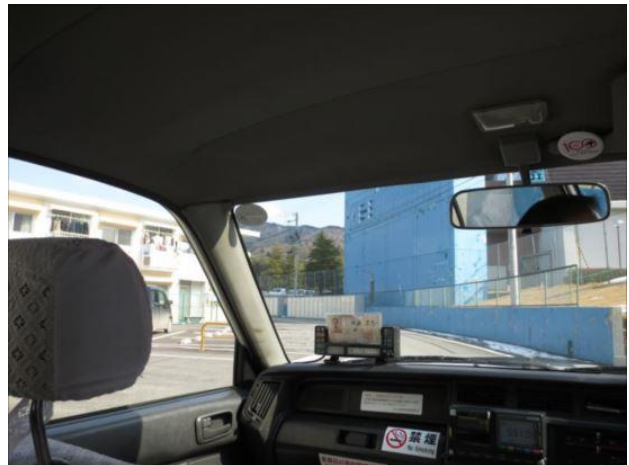
14 運動公園では、3階建ての仮設住宅も見られましたが、高齢者などは、苦労しているとか。



15 野球場は、内野も外野も、まさに、ところ狭しと仮設住宅が建っていました。



16 スコアボード（ブルーの高い建物）の前も住宅でいっぱいです。



【乗車】

清水・新田の仮設住宅をぐるっとまわって、清水百貨店や、エル・ファロという最近できたトレーラーハウス宿泊村を、なんとなく見ましょう。

そこから、がれき集積処分場を通り抜けて・・・



17 見渡して、活動しているのは、がれき処理場だけ。分別ができれば機械化できるらしいです。

18 がれきの分別までは人の手仕事で、アスベストが混入している可能性もあり、作業は困難が。



19 整地された場所には 元の会社の関係者からか？花が・・・。

20 時折雪の舞う中、職員のマスクも半端でない
嚴重さが感じられました。



魚市場のあたりの製氷機とカタールがつくってくれた巨大冷蔵庫を見て、
崎山公園のダメージを見て、桐ヶ崎を見に行きましょう。



21 漁業復興には欠かせない漁協の冷凍庫は、いち早く復旧していました。

22 カタールからの、復興支援で完成した巨大冷凍庫は、迅速で的確な支援と温かい心が、冬空に輝いていました。



23 理由はよくわかりませんが、解体に手がついていない建物がいくつか見られました。

24 津波災害時の写真（Internet から拝借）



桐ヶ崎では、浦が全てなくなり、かなり山側に仮設住宅が建っています。この感じが、小さな浦が受けたダメージの典型像かなと思います。



25 (崎山公園は崩壊激しく立ち入り禁止で通過) 桐ヶ崎(女川町の北の狭い入江の漁村)では村がなくなり、入江の奥の高台へ仮設住宅を立てて、移り住んでいます。

26 入江を眺めると、浜には何も見えないが、漁業は行われているようで、仕事場と住居を分けた一例でしょうか。



女川に戻って病院(医療センター)の前で降ろしてもらいましょう。



27 女川に戻りました。左に倒れたままなのは昔の交番(見えるのは屋上部分)。右手の高台に見えるのは、女川町地域医療センター(元、女川町立病院)。

28 交番の裏側というか底部分。建物の底をこのように見ることは珍しい。もぎ取られた配管の類が痛々しい。



29 大きな事務所ビルも倒れています。ビルの底面です。さして高くなく安定の良い重そうなビルですが・・・。



30 「江島共済会館」の4階建てのビルも倒れています。基礎部分とつないでいた鉄筋が抜けたようです。位置もずれたとか？

31 同じく「江島共済会館」の屋上面です（江島（えのしま）は女川町沖の島）。更地に大きなビルが倒れている光景は不気味です。



女川町を守る「イーガー歯ブラシ」
・・・案内広告・・・



医療センターの入り口の柱には、津波がどこまで来たかが**マーク**されています。
その高さをみて確認しましょう



33 女川町地域医療センターの駐車場から見た女川湾と、かつて街があった土地です。晴れた空、静かな海の海岸のさら地に大きなビルがゴロリと……。不気味な雰囲気です。

34 当然ですが人が歩いていません。JRの復旧は3年後が目途。走っている自動車が何台か見えるのが救いです、



35 医療センターの駐車場。ここに避難していた方々は津波にのみ込まれてしまいました。この約14mの高台では安全ではありませんでした。

36 医療センター玄関前。左の柱に**赤いライン**で津波の水位の記録があります。
床から**195cm**です。前方の壁の向こうが駐車場。



向かいの地域福祉センターの保健センターと歯科診療所とかをなんとなくみて、駐車場のプレハブの薬局とお茶っこクラブをなんとなく見て、駐車場の端（おちゃっこクラブ前）の追悼碑に手をあわせましょう。



37 地域福祉センター1階に保健センター等の施設がまとまり、2・3階は高齢者福祉住宅。

38 1階の保健センターの奥には、仮設歯科診療所もあります。

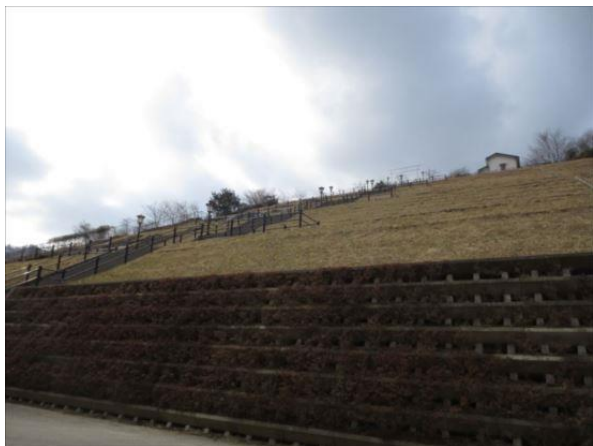


42 医療センター駐車場の隅にある「東日本大震災慰霊の碑」。



ちなみに女川町の被害は、
死亡：553名、死亡認定：268名、行方不明：6名。住宅の被害：4,411棟でした。
(Internetより)

周囲を見回したら、地域福祉センターの裏の階段を昇って、熊野神社にお参りし、上から女川町を一望しましょう。



39 福祉センターの裏山には、200段?の階段の上に熊野神社があります。

40 200段を登った熊野神社からの悲しい風景をバックに不謹慎?にも笑っている私です。実は笑っているのは膝なんです。



41 熊野神社から見た女川湾。ここを大津波が襲ったことは、その爪痕から明らかですが、この高台の医療センターの駐車場を襲い、病院の1階の天井近くまで水につかったとは信じがたいです。

お茶っこクラブの脇を抜けて行くと階段がありますので、そこから階段を下りて船着き場の方に行き、海沿いを散策しましょう。

横たわっているのは、交番と江島共済会館です。七十七銀行女川支店跡地の前で手を合わせましょう



43 横倒しになっているのは事務所ビル。このように重そうな、あまりも高くない、安定感あるビルも倒れるとは！！驚きです。

44 ガレキが撤去された更地から、丘の上の医療センターを見たところです。この駐車場が安全ではなかった！自然の怖さを思い知ります。



45 横倒しになった江島共済会館ビル。手前のレンガ部分が1階の入口。遠くの丘の上に医療センターが見えます。その横には「We ♥ (love) 女川」

46 女川湾から西へ少し入った場所でも山の中腹まで津波に破壊されています。復興はこれからなのです。



一段落したら、398号線の旧道を石巻方面へ戻りましょう。道幅が狭いので、車に気を付けてください。少し行くと右手に自動精米機があり、左手にも高白浜で編んでいる草履などが売っているうみねこハウスがあります。

右手の坂をちょっとのぼると左手にコンテナ村商店街がありますので、食事をしたり、お買い物をしたりしましょう。ここの「マルサン」でイーガー歯ブラシを売っています。

398旧道に戻って、石巻方面にファミマを越えて信号まで歩きます。左に曲がり398号線バイパスに沿って山を登っていくと、左手に「きぼうのかね商店街」がありますので、一通りまわってみましょう。

47 コンテナ村商店街で海産物をお土産に買込みました。マルサンは休業日。食堂「おじか」で昼食。美味しい。

きぼうのかね商店街は見ただけでパスでした。



飽きたら、398号線バイパスを少し戻って、信号を越えて次の左に入れる大きな道を入りましょう。先に広がるのは浦宿の町です。そのまま坂を降りて行き、右手に特別養護老人ホームを越えたら左に入り、蒲鉾の高政へ行きましょう。蒲鉾以外にもいろいろと売っています。



49 高政の入り口の目印にもなる特別養護施設。

48 蒲鉾の高政。建物も新しく、玄関前の緑や赤の大きな石も立派です。もちろん蒲鉾も逸品。



お買いものをして宅急便をしたら、さきほどの特養まで戻って、左に大きな道を進みます。突き当たりの先は万石浦ですが、その交差点の右角にオナガワフィッシュ（木を削り込んだ魚のキーホルダー）の店「アウラ」があります。

交差点を右に曲がり、いまだ使われてない踏み切りを渡り、少し左へ行くと女川の酒をおいてある酒屋があります。ここが浦宿駅です。

このあたりでタクシーを呼びましょう。

黄金タクシー：0225-53-3334

【立ち寄り】

マリンパルにちょっと寄ってもらいましょう。

入ってすぐ右のマルキチ阿部商店の「さんまの詩」はお土産に便利な保存のきく絶品です。



50 石巻市境近くのおさかな市場「マリンパル」。以前は湾の近くにあったお魚屋さん商店街が、この地に復興売店を作りました。

51 マリンパル内部。お土産を買うことも災害地支援になるでしょう。



52 この旗を見て、めげずに元気を出している様子が感じられました。少しずつでも多くの手を！

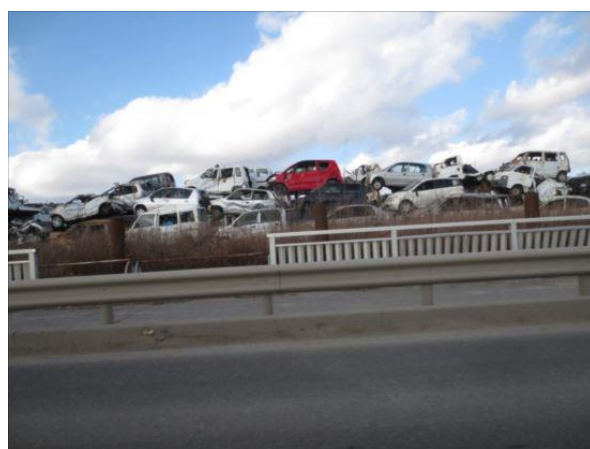
【乗車】

折立のファミリーマートで右折して、稲井のバイパス仮設を見ながら戻り、石巻大橋のところのブレナで左折、トンネル抜けてまっすぐ海沿いの魚町へ行き、日和大橋を渡って南浜町の石巻市立病院（解体中）あたりを通過して門脇（かどのわき）小学校に行きましょう。



53 バイパス仮設住宅。未完成のバイパス用地を利用したので、細長い敷地で不便も？

54 使えなくなった自動車の数も膨大な数に上がったようです。



55 途中には、取り壊し待ちの建物が幾つか……。ここは土地が陥没した？

56 石巻市立病院も遠目には大きな破壊は見えませんが、解体中でした。



【立ち寄り】

門脇小学校・・・火災で校舎が焼け焦げてしまっています。近くの日本製紙の工場から油が流れ出して付近一帯が燃えたそうです。



57 門脇小学校。後方に見える日和山の下の低地にあり、工場から流出の油に火がつき黒こげに。

58 「すこやかに」「門小ガッツ 僕らは負けない」と。強い大人になるでしょう。



59 石巻市内でもまだ片付かない場所も随所にみられました。

60 更地のままの土地や、1階部分が壊れたままのビルもみられます。



【乗車】

山を昇って日和山（ひよりやま）公園で降ろしてもらいましょう。

日和山公園からは、海側の南浜町や、北上川側の中瀬・湊町の状況がよく見えます。付近を散策したら、駐車場方面から真っ直ぐ坂を降りて石巻中心部へ向かいましょう。

橋の近くの復興マルシェに寄ってから、水浸しになった繁華街を散策しながら石巻駅方面に向かい、立町（たちまち）の復興商店街をまわり、石巻駅へ戻りましょう。

61 日和山から2013年2月11日の景観

北上川に浮かぶ中瀬も兩岸も緑を失い、茶色の肌が痛々しいです。中瀬の丸く白い建物は石森章太郎記念館の「石森萬画館」。



62 東日本大震災前の同じ方向の景観（日和山展望台の展示写真を撮影）世のはかなさを感じますが、人間は必ずまた復興するでしょう。そしていつか自然は、また、暴れるのでしょうか。

63 日和山から東方の海を望む。

空はのどかですが、川岸の台地は褐色の地肌を見せたままです。



64 展望台には、東日本大震災前のおなじ報告の写真が掲示されているので比較して見る事が出来ます。

65 大震災前の写真の複写。赤い屋根・青い屋根など、活気を感じさせます。



あとは、JRか ミヤコーバスで、仙台へ戻りましょう。

66 石巻駅はじめ街中には明るく元気な石森キャラクターが随所にいますが、街は重く静かに感じてしまいます。



67 石巻駅から JR [2両編成] で、仙台へ戻ります。天気は悪くなく見えますが、時に小雪も混じる寒い日でした。

68 途中、矢本で代行バスに乗り換え、松島海岸で再び JR の電車に。時間はかかります。



仙台着。おつかれさまでした。